



～地域とともにある学校をめざして～

鯀コミ

R4 CS通信No.12 R4.10.24



(コミュニティ・スクール通信) 文責 社会教育推進 DC 藤田昭彦

合唱コンクールに向けて練習(鯀ヶ沢中)・ふるさと学習(西海小)・音読発表会(舞戸小)

10月14日(金)は、合唱コンクールの前日で、学級毎と全校での最後の練習がありました。

3年生は、みんなのやる気が出るように、円陣を組んで、大きな声を出していました。

声がよく出るように、体を動かしながら歌う女子生徒が何人もいて感心して見ていました。

2年生の練習では、パートの仲間との気持ちを合わせるために、手をつないで歌っていました。

1年生は、初めての合唱コンクールですが、校長先生の話では、2・3年生のがんばりを見て、急激に上達しているということでした。

最後に、全校生徒が体育館に集まって全校合唱の練習をしました。指揮をした生徒は、「みんなのまとまりが出てきた。声も良く出ている。楽しく指揮ができた。」と、話していました。

練習の中から、子どもたちの成長の様子やがんばりを感じる事ができて良かったです。



10月17日(月)町総括学芸員中田書矢氏を講師に西海小第6学年ふるさと学習がありました。

餅ノ沢遺跡には、三内丸山遺跡と同じくらいの規模の住居跡が見つまっていることを前回の学習会で学びましたが、今回は、道路下に埋まっている住居跡の上に立ってみて、縦28mという住居の大きさを実感していました。

和開トーチカは、大砲の玉がどこに落ちたかを安全に観測するための施設で、今は1ヶ所しか残っていない貴重な施設だということでした。

トーチカの中には、気温が低い10月なのに、

コウモリが何匹もぶら下がっていて、子どもたちの驚きの声で、外に逃げ出していました。

今回の現地学習には、学校支援ボランティア3名が同行し、児童の活動支援にあたりました。

ボランティアの方々は、子どもたちと一緒に楽しく学習し、参加して良かったと話していました。



10月21日(金)舞戸小学校で音読発表会がありました。音読発表会は、発表することの喜びを味わわせることや進んで取り組む態度を育てることをねらいとして今年初めて実施しました。

6年生は、「光信公の鬼退治」をみんなで役割分担して音読しました。登場人物や鬼になりきって音読し、迫力があって大変おもしろかったです。

三橋校長先生から、「6年生の発表はさすがです。話の内容がよくわかり、場面に応じてお話しています。」というお褒めの言葉がありました。

音読発表会に向けてがんばったことや発表を終えてみんなから拍手をもらった喜びを忘れずに、これからの学習もがんばってほしいですね。

